

大東市の皆さまへ

だいとう元氣
でまっせ宣言

まちづくり提案 政策集

おおさかのぶこ
伸子

目次 Contents

- はじめに P.3
- プロフィール P.4
 - 大東市での主な取組
 - 市民との対話
- 政策 P.7
 - だいとう元気でまっせ宣言
 - 大東市の公民連携について
- お約束 P.14



大東は、もっと元気になれる！

私は34年間、大東市役所で理学療法士として働いてまいりました。専門職であるため、主に福祉や健康分野に配属されてきましたが、2017年から2年間は、地方創生局、現在の公民連携推進室の課長参事に着任。まさに**政策の中心となる部署で、大東市のあらゆる施策に関与し、新たな視点や手法で地域を変えていく仕事に携わる経験**をさせていただきました。

そこで強く感じたことは、**大東市の「市民の力」**です。しかしながら、市民意識調査では、市に対する満足度は55.5%と、半分近くの人が不満を持っていることが明らかになっています。こんなにも市民に力があるまちなのに、大東市からどんどん人が転出してしまっている。この事実には、私は強い危機感を感じました。

これまではリハビリテーション専門職として、障害児や障害者、高齢者一人ひとりの**「できないことを、できるように」**、そして**「できることは、もっとできるように」**と、本人が気づいていない能力を見抜き、引き出してきました。この経験を活かして、今度は大東市民の力をさらに引き出し、大東市全体をもっと元気にしたい。大東市には、まだまだ気づいていない伸びしろがきっとある。そうした思いが、日に日に強くなってきています。

大東市はこれまでも、公民連携を用いた新たな手法により、大東市民のみならず、市外の方にも大東市の良さを実感していただけのような取組を進めてきました。しかし、職員の意識が市民の方に向ききれていない、**市民のために一丸となりきれていないと感じる場面がある**のも事実です。

繰り返しますが、大東市は**市民こそが力の源泉**です。だからこそ、その力を多くの市民に気づいていただく機会を増やしたい。そのためにも、職員一人ひとりが市民の声に丁寧に耳を傾け、市民が参画したくなるまちづくりを進めなければなりません。

公務員という安定した立場、さらに、仕事自体も楽しくやりがいもあるなか、それを辞すのは断腸の思いでしたが、私を育ててくれた大東市、**何より大東市民のために、誰よりも走り回り、誰よりも汗をかく覚悟**です。

実際、公務員を辞した後、**私は市民の皆さまとの対話を大切に**して政治活動を行ってきました。この政策冊子には、その中でいただいた数多くのお声をもとに、私が考える大東市が取り組むべき政策をまとめています。ぜひご覧ください。

おおさか 伸子

プロフィール

おおさか伸子

1967年12月19日生まれ
大野に在住 子ども2人

- 元大東市保健医療部課長
- 博士(保健学)
- 理学療法士



学歴

2011年 IBU四天王寺大学 大学院人文社会学研究科 博士前期課程修了
2019年 大阪公立大学 大学院 総合リハビリテーション学研究科 博士後期課程修了

職歴

1989年 医療法人 恒昭会 藍野病院勤務
1990年 大東市入職 全国で唯一の理学療法課に配属
2017年 大東市地方創生局 課長参事 兼 保健医療部高齢介護室 課長参事
2020年 大東市保健医療部 高齢介護室 課長
2021年～現在 大阪歯科大学 医療保健学部 非常勤講師
2024年～現在 大阪河崎リハビリテーション大学 客員教授

その他公職

2014年 厚生労働省 地域づくりによる介護予防推進支援地域アドバイザー
2016年 厚生労働省 平成28年度地域づくりによる介護予防推進事業検討委員会 委員
2023年 厚生労働省 介護予防・日常生活支援総合事業の充実のための検討会 委員

ALBUM

介護予防普及のためのまちづくり
出前講座風景
(2003年)



高齢介護室
時代デスク
ワーク風景
(2016年)



療育センター
担当時代
運動会風景
(1997年)



厚生労働省から
「健康寿命をのぼ
そう! アワード」を受賞
(2018年)



全国から殺到する行政視察
大東市の先進的取組の説明風景
(2023年)

趣味

旅行、多肉植物の栽培

好きな言葉

士魂商才(しこんしょうさい)

武士の魂をもつと同時に、商人としての
才知・才覚にもたけていること。

大東市での主な取組

2005年に**大東元気でまっせ体操**を考案。
2023年現在、市内に145グループがあり、
週に1回約2,500人の高齢者が参加する
通いの場へと成長しました。

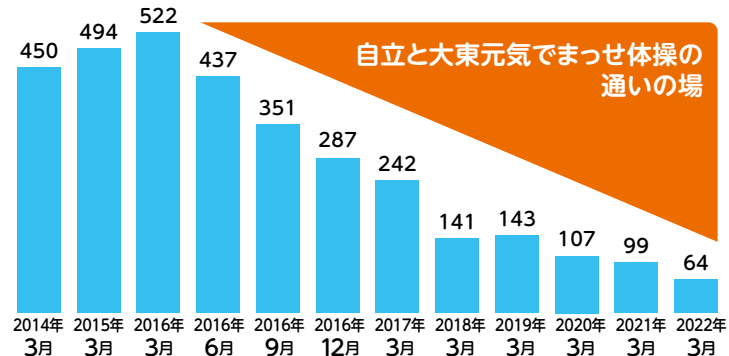


住民が主体的に運営している通いの場を通じ、
**デイサービスに頼らずとも、閉じこもらず、
みんなで元気になる大東を実現!**

実際、大東市では**2016年度以降の6年間で、23億円を超える介護予防給付費が抑制されている**ことから、多くの人が自立につながっていることが分かります。

6年間で**23.4億円**※
以上の**介護予防給付費の抑制**

軽度者(要支援1・2)のデイサービス利用者数(人)



**多くの高齢者が元気になり、
介護人材不足も解消!**

※2015年までの3年間の平均伸び率からの推計と実績との差額

参照:株式会社コーミン 地域健康プロフェッショナルスクールのビラ(2023年度)より



市民との対話

まちづくりには市民の皆さまのお声が何よりも大切であるとの考えのもと、3月の1ヶ月間をかけて、市内小学校区ごと全12ヶ所の会場で対話集会を行いました。

すべての対話集会の様子は、ホームページからご覧いただけます。



ホームページ

<https://ohsaka-nobuko.com>

おおさか伸子



スマホからは
ここから



次ページからは、

皆さまからいただいた
お声に対する回答とともに、
私の考える政策を
ご紹介します。



子ども・若者を元気にしまっせ

✓ もっと学校に 行きたくなる大東

子どものやりたい、やってみたいを育てる探究学習を推進するとともに、より魅力的な部活動ができる環境を整えます。

✓ 子どもが主体的に まちづくりに参画する大東

学校の枠や、世代を超えて、地域活動やまちづくりに参画できる仕組みをつくります。



大東市民

Q

探究学習や部活動も良いけど、グローバル化がどんどん進んで、英語の勉強が心配です。

例えば、岡山県総社市では「英語特区」を導入し、幼少中一貫の英語教育を進めています。大東市でも、そうした特区制度を活用し、**小さな頃から英語に触れることができる環境づくり**を進めます。

A



おおさか



大東市民

Q

子どもがまちづくりに参画って、実際にどういう仕組みを考えていますか？

大東市で政策を作る際には、専門家の方などがメンバーとなる審議会という会議を開催します。その中に、**子ども・若者枠を新たに設置**することで、子どもや若者の意見を大東市に表明できる仕組みを導入します。企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングなどで資金調達し、大東の子どもに**学校外の体験を提供する仕組み**を構築します。

A



おおさか

だいとう元気
でまっせ宣言

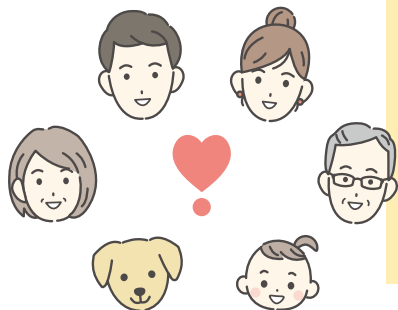
子育て世代を元気にしまっせ

✓ 子育ても仕事も みんなで力を合わせる大東

住民主体の子育て助け合い制度を構築し、地域みんなで子育て世代を応援します。

✓ 子どもとの時間も 一人の時間も 大切にする大東

公園や屋内施設といった親子が遊べる場所を増やすとともに、リスキリングなどの自分の時間づくりを支援します。



大東市民

Q

住民主体の助け合いはもちろん大切だけど、経済的支援は何か考えていますか？

A

学用品や塾代、部活動代など、いわゆる「隠れ教育費」への対策を推進するとともに、**市立小中学校での給食費完全無償化を可能な限り早急に実現**します。
また、義務教育だけではなく高等教育への支援として、**市独自の給付型奨学金の創設**も検討します。



おおさか



大東市民

Q

「自分の時間づくりを支援」って、どういうことですか？

A

忙しい子育て世帯に**生活サポート事業の対象を拡大**することや、**託児付きコワーキングスペースを設置**することで、子育てしながら自分の時間（ミータイム）を持てるような環境づくりを進めます。



おおさか

だいとう元氣
でまっせ宣言

働く人・企業を元気にしまっせ

✓ 企業を守り育てる大東

各業種に精通した専門家を配置し、市内企業の生産性向上と情報発信を支援するとともに、企業と地元人材を繋ぐ仕組みを構築します。

✓ チャレンジを応援する大東

新たに起業・誘致推進課を設置し、空き店舗や公的遊休地等を活用した起業や誘致を積極的に推進します。

CHALLENGE!



大東市民

Q

「市内企業の生産性向上」は、具体的にどんなことを行うのでしょうか？

A

専門家のご意見を伺い進めていきますが、中小企業が多くを占める大東市では、サービス業も含め**生産性の向上の中核となる人材育成**への取組が重要だと考えています。



おおさか



大東市民

Q

「起業・誘致推進課」は、具体的にどんな業務を行うのですか？

A

これまで企業誘致については、行政として積極的に進めてこなかったように感じています。企業の誘致や起業は、雇用の創出をはじめ、税収・地域経済への波及効果が見込まれます。新設する課を中心に、**私が先頭に立って大東市をアピール**するなど積極的な営業活動を展開していきます。



おおさか

おおさか伸子が考える政策④

だいとう元気でまっせ宣言

高齢者を元気にしまっせ

✓ いつまでもやりたいことを続けられる大東

市内にすでにある施設を有効活用しながら、高齢者の体力アップとともに、安心して入浴もできる通いの場を増やします。

✓ いくつになっても働きたい! を応援する大東

住民が住民を支える生活サポート事業を拡充するとともに、働きたい高齢者と介護事業者のマッチングを推進します。



大東市民

Q

「安心して入浴できる通いの場」とは、具体的にどんなものですか？

A

有料老人ホームやホテルにあるバリアフリーの浴室を活用して、**大東元気でまっせ体操と入浴を合わせた通いの場**を市内各地に展開することを考えています。



おおさか

だいとう元気でまっせ宣言

障害者を元気にしまっせ

✓ 社会に出にくい方の社会進出を実現する大東

引きこもりの方や障害者の方などと、社会をつなぎ合わせる仕組みを構築します。

✓ 安心して歯科受診ができる大東

一般の歯科では治療が難しい障害児や障害者の方が、専門的に治療してもらえる医療体制を整備します。



大東市民

Q

「医療体制を整備」と言うけど、市が医療施設を建設できるのですか？

A

大東市の税金で医療施設を建設するのではなく、障害児や障害者を**専門に治療できる技術を持つ歯科医師と民間の力を活用し**、高度治療が必要な方にも安心して市内で歯科治療が受けられる体制を整備します。



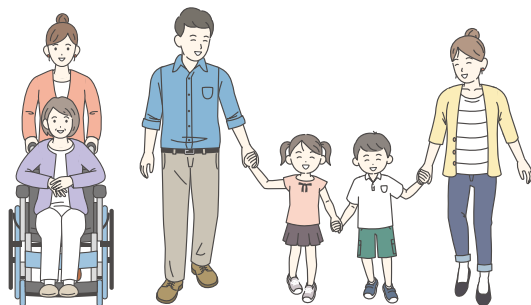
おおさか

✓ 歩いて集える楽しい大東

駅周辺でのイベント開催を推進し、野
崎まいりのさらなる魅力化、歩道のバ
リアフリー化を進めます。

✓ 地域の力で
安全を確保する大東

過去の教訓に学び、ハード面の整備
はもとより、防災訓練や日頃からの見
守りにより地域の繋がりを強化するこ
とで、安全に繋がっていきます。



大東市民

Q

住道駅前に大きなマンションができるようですが、
駅前デッキはそのままですか？
また、歩道のバリアフリー化って本当にできるのですか？

A

住道駅前デッキは、**日常的に市民が憩え、イベントもし
やすいデッキ広場**につくり変えます。

歩道は、大東市バリアフリー基本構想に位置付ける生
活関連経路を、**4年間で集中的に整備**していきます。



おおさか



大東市民

Q

「過去の教訓」に何を学んだのでしょうか？
最近では自治会に加入する人も減り、役員の成り手も
少なく、自治会活動はとても大変です。

A

東日本大震災被害者の6割は、地震の際に避難しなかつたという分析があります。「命は自ら守る」「地域で
守り合う」**意識向上への取組を充実**させることが大切
と考えています。

また、自治会活動は、災害時においても非常に重要な
役割を担います。地区担当職員制度を拡充し、**日常の
活動を支援する体制を構築**していきます。



おおさか

だいとう元気でまっせ宣言

市役所を元気にしまっせ

✓ 市民の役に立つ大東市役所

窓口でのたらい回しをゼロにするとともに、会議室の空き時間は市民に開放し、イベントや会合に使えるようにします。

✓ 市民や民間の知恵と力を活かす大東市役所

税金だけで全てのサービスを行うのではなく、民間企業の力を活用した公民連携事業を推進します。



大東市民

Q

市役所を「市民に開放する」ってどういうことですか？
そもそも、市役所の会議室は空いていないと聞いたことがあります。

A

おっしゃる通り、市役所の会議室は、会議等で平日はほとんど埋まっています。しかし、閉庁日はほとんど使われていません。土日や祝日といった閉庁日や、夜間などの閉庁時間に会議室を有効活用し、市民がイベントや子どもさんたちの遊び場として使っていただけるような、**ワクワクする市役所**に変えていきます。



おおさか



大東市民

Q

公民連携って、実際は市民サービスを民間企業に丸投げしているってことではないの？

A

豊かな暮らしにつながる付加価値の高いサービスについて、**専門性をお持ちの民間企業と連携することで、さらにサービスの質を高めることができる**ことに加え、行政にしかできない業務に行政が集中することで、いま以上に**市民の皆さんに寄り添ったサービスを展開**できるようになります。



おおさか

大東市の公民連携について

● これからの行政運営に、公民連携は必要です。

少子高齢化社会の進展や施設・インフラの老朽化をはじめ、社会経済情勢や暮らし方の変化による住民ニーズの多様化により、これまでの手法だけでは自治体の経営が困難な状況となっています。将来の人口減を見据え、限りある行政資源等の状況下で、市民ニーズに的確かつ持続的に応えていくという難問に対して、大東市は、ノウハウを積み重ねた民間企業等の力を最大限に活用していくことに活路を見出しました。大東市では2015年からこの公民連携事業に取り組み、「morinekiプロジェクト」「大東ズンチャッチャ夜市」「健康づくり」など、様々な分野で成果を上げてきています。

● この数年間、大東市議会でも様々な議論がありました。

ただ、この公民連携事業が、市民や職員にもうまく伝わっておらず、多くの誤解を招いている側面があることも事実だと思います。市議会議員の方々も、大東市の未来を熟考された上で、それぞれの考えから議論をされておられたこと、心から敬意を表します。しかしながら、職員として携わってきた私は、大東市の未来にとって公民連携が必要不可欠であると確信しています。

● わかりやすい周知を心がけ、先進都市として走り続けます。

今後は、「公民連携」の良さをいま以上にわかりやすく周知することを心がけるとともに、民間事業者のビジネス活動を市民のためにどう役立て、地域課題の解決につなげるかという大きな視点に立ち、更なる進化を図るため、公民連携を積極的に推進していきます。



morinekiプロジェクト



大東ズンチャッチャ夜市



健康づくり

お約束

これからも、市民の皆さまとの対話を重視したまちづくりを進めるために、以下の**3つをお約束**します。

**1**

市長が直接参加する車座集会を定期的に開催します。

2

住民活動の原点である自治会をさらに支援すべく、市の地区担当職員を専従化します。

3

民間提案制度を改善し、市民が事業提案しやすい仕組みを構築します。

DAITO CITY

おわりに

まちづくりとは、そこに暮らす人々が、日常の営みにおいて生身で担っていくものだと思います。そのため、考え方がいくら優れていても、実践する主体に具体的なパワーが備わってなければなりません。今日、まちづくりにおける「ひとづくり」の重要性が、あらゆる場面で叫ばれている理由でもあります。

大東のまちは、河川により生活圏が分断されている、道が狭く歩きにくいなど、生来のもの、後天的なものと、色々な課題があります。これらの課題を解決するのがまちづくりの役割ですが、実際、簡単には解決できないものの方が多いのも現実です。

でも、そこで日々の暮らしが営々と続いていくとすれば、課題の解決を他者に委ねるだけではなく、自ら働きかけて、マイナスである課題をプラスの魅力に転じていく努力がもっとあっても良いのではないのでしょうか。

河川による生活圏分断は、市域内での棲み分け境界として大きく捉え、特色あるゾーン形成を行う。宅地開発地区内に散見される行き止まり街路は、花や緑に満ちたコミュニティ空間として活かす。高齢化は、地元に住する魅力的な人材として見直す。これらの他にも、様々な課題に可能性を見出せるとすれば、それはまちづくりの格好の学習機会となるに違いありません。

私は、これからの大東市役所の職員が市役所の中に閉じこもらず、“まち”に飛び込み、市民の皆さまとともに、施策を組み立てる仕組みを作ってまいります。

**市民の皆さま、一人ひとりの「チャレンジ」や、
一つひとつの「希望」に光をあて、形にしていきたい。**

市民の皆さまと、徹底的に対話しながら。

おおさか 伸子

皆さまへのお願い

おおさか伸子は、公正で透明な市政をめざしていることから、
特定の団体による支援をいただいております。
大東市をもっと元気にするために、ぜひあなたの力を貸してください。



1 SNSで、おおさか伸子を応援する

おおさか伸子の挑戦、政策、人柄について、
応援メッセージをSNSに投稿していただき、
支援の輪を広げていただくと幸いです。



X



Instagram



Facebook

2 ボランティアで、おおさか伸子を応援する

チラシ配り、ポスター貼りなど、数日だけ、数時間だけでも参加していただけますと助かります。
ボランティアに参加いただける方は、メールにてご連絡ください。

Mail info@ohsakanobuko.com

3 寄付で、おおさか伸子を応援する

日本においては個人による政治献金は一般的ではないかもしれませんが、
しかし、しがらみのない政治家として活動するためには、
特定の団体による献金ではなく、お一人おひとりからの暖かなご支援が必要です。
ご寄付いただける方は、右のQRコードからよろしくお願いいたします。



選挙ドットコム 政治家情報
おおさか伸子

寄付して応援する

※選挙ドットコム会員登録(無料)
が必要です。

だいとう元気でまっせ宣言 まちづくり提案 政策集

発行・企画 おおさか伸子後援会事務所

〒574-0027 大東市三住町6-3

TEL.050-1720-1312 FAX.050-5526-2306

ホームページ

<https://ohsaka-nobuko.com>

おおさか伸子



@ohsakanobuko



ohsakanobuko



ohsakanobuko

